



神奈川県福祉カフェに参加して

－中井やまゆり園元利用者の死亡事案に係る検証チーム報告書－

佐藤彰一座長から

令和7年6月30日に「中井やまゆり園元利用者の死亡事案に係る検証チーム」の報告書がでました。元利用者の方の死亡案件に係るとなっていますが、この方は、中井やまゆり園の短期入所を利用されていた方でご家族の支援が困難になり、長期入所を中井やまゆり園に依頼しました。しかし、「中井やまゆり園」が虐待事件で短期・長期入所を県の方針で利用できなかったために千葉県長生郡に移住し、そこで重度の知的障害者で行動障害のある利用者の方をお父様が殺害した事件です。多くの新聞で取り上げられています。

2025年に千葉地裁での裁判の判決では「どのような理由であれ殺害という手段の選択は非難されるべき」と言いつつも「施設でも支援が困難な利用者の方の支援をご家族が支えているなかでは被告への批判は強くなく、被告のみを責めるのは酷である」として懲役3年、執行猶予5年の判決が下されました。

検証チーム報告書に関しては、多くの団体でその是非が問われているところですが、今回福祉部の参事官道駒氏が主催する福祉カフェに於いて、座長の佐藤氏から直接この報告書の説明をされるとのことで参加させていただきました。何度かこの福祉カフェには参加していますが、今回の話は皆さん関心があったのか、県庁の本庁舎の3階会議室を埋めつくす人数の参加者が集まりました。久しぶりにお会いした方も多くいました。それだけこの問題についての関心の深さを感じられました。

佐藤座長は、どのような視点でこの報告書の作成をしたのか？ まずこの事件に潜む意思決定支援の再考の必要性について話されました。従来、重度でなかなか意思の表出が難しい利用者の方への理解は、ともすればその方の能力では適切な判断ができないので関係者が代わって判断をする(能力不存在推定=代行決定)が主流を占めていました。しかし、どんなに重い障害をもっていてもその人なりの人生を生きてきた経緯があり、その人なりの想いや判断があり、出来ないと思われていた人であっても、支援をうければその人なりの決定ができる…という考え方へ変えていく(能力存在推定=意思決定支援)

その上で今回の事件については、単なる一家庭での特異なものではなく、重度の知的障害のある方とその家族が地域社会から排除され、孤立するという日本社会の現実であり、本人が家族との生活を望むからと推測して、関係機関は以前から虐待事件として認識していたにもかかわらず、家族への支援を怠った。戻すのであれば、地域での生活をどのように支えるのかを考える必要があったと断言されました。報告書を読んだなかで私自身は、そこまで深く佐藤座長の考え方を読み取ることはできませんでした。

虐待事件と認められた場合、特に今回のように家族が虐待をしていると多くの関係機関が認めている場合は、ご本人の意向を推察して「施設より家族と一緒にいることを望んでいるだろう」という本人の想いは無視しても、家族の支援策を講じなければならず、だからこそ市町村や相談事業所の責任に言及していることは理解することができました。しかし、私自身は国や県は施設から地域へというものの具体的な方向を示さないことへの責任も大きいと思っています。また施設の在り方にも言及していましたが、地域へ戻るための支援の必要性は感じています。今の入所施設の在り方はこのままではいけないと思います。そのためにも今の報酬の在り方を一考する必要があると感じています。

国が示した地域活動支援センターの在り方にも疑問をもっています。いつの日か福祉カフェの一つのテーマとして取り上げられれば良いと思っています。その時は、日頃思っていることをぶつけたいと思います（海原・記）

2025年度きょうされん夏季販売報告！

2025年度 きょうされん夏季販売が終了しました。たくさんのご注文ありがとうございました。

売上高 744,350円！！(対前年度比124%！！)

一番人気商品は「食用オリーブ油」次いで「静岡県牧の原産やぶ北新茶」でした。

この売上は、障害のある人たちの収入や、障害のある人たちが障害のない人と同じように暮らしていく社会を作るための活動にあてられます。



誰もがかけがえのない尊厳をもつ存在。

様々な考え方がある仲間のおもいを大切に。

賛助会にご協力をお願いします。

私たちは地域社会の中で、障害のある仲間たちが豊かに安心して暮らせるように、障害があっても、住み慣れた、生まれ育った街で安心して暮らしていくように、仕組みを考え支え合いながら、進んでまいります。

多くの皆様に法人の取り組みへのご理解をいただき、賛助会員として法人を支えるサポーターになっていただくことを願っています。賛助会費は税額控除の対象になります。

少しですが製品もプレゼント



・8月 予定

生活介護（あまね共同作業所・ワークハウスあまね・キッチンハウスあまね）は8/9～8/13まで夏休みとなります。あまね支援センターも夏休み等があり支援できない日があります。

8月 7日 (木) ひまわり交流会

8月 8日 (金) 資源回収 (池田・岩戸はお休みです)

8月 9日 (土) 資源回収 (舟倉・久比里・若宮台)

ふきんとお茶販売のお知らせ

きょうされんふきん
750円(3枚一組)



静岡県牧の原産やぶ北茶
1,000円(200g)です



ご注文はあまね共同作業所まで
☎046(835) 0723

なかま美術作品をモチーフにデザインされた商品ができました！
なかまの個性あふれる、とても便利アイテムです。
あまねオリジナル商品をぜひご購入ください。



A4クリアファイル (4種 各350円全種セット1,200円)
A4トートバック (【黒・白】各2,200円)
サコッシュ (【ネイビー】1,500円)

左から：クリアファイル
：トートバック
：サコッシュ

資源回収ご協力 ありがとうございます

6月実施分は14450.5kg

奨励金は57,800円でした

次回日程は確認してください

ヘルパー募集

あなたの『笑顔の力』を試してみませんか

知的に障害のある方々が生活を楽しむためにサポートをするお仕事です。

移動や外出の同行、身体介護（入浴・更衣・トイレ介助）や生活援助（調理・洗濯・掃除）を行います。

【給与】 時給 1260円 * 8時迄と18時以降+315円
身体介護+200円

【時間】 8:00～19:00 * 都合の良い時間に1時間～OK

【資格】 介護職員初任者研修（ヘルパー2級）

【待遇】 交通費規程支給・処遇改善手当あり